



平成25年 7月 5日
国土交通省中部地方整備局
三河港湾事務所

三河港で環境学習を実施！

～地元小学生が三河湾の環境や港湾事業を学ぶ～

1. 概要

蒲郡市が実施する「三河湾環境チャレンジ 海の環境学習」の取組みに今年度も当事務所が協力しています。

今回、蒲郡西部小学校の児童など10名程度が、当事務所の所有する港湾業務艇「しおさい」を使用し、三河港の蒲郡地区竹島ふ頭周辺において、三河湾の水質、環境や当事務所の仕事内容などを船上にて学びます。

当事務所では、今年度も三河湾、三河港や衣浦港での環境学習等の取組みに対する支援を実施していきます。

2. 日時・場所 平成25年7月10日（水）11：30～

（乗船場所：竹島ふ頭浮棧橋（別紙1参照））

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、豊橋記者クラブ、港湾新聞、港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

4. その他 当日の天候により、出港できない場合もあります。 （前日17時に判断）

5. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 三河港湾事務所 企画調整課 日置（ひおき）

Tel 0532-32-3252 Fax 0532-32-5049

※「三河湾環境チャレンジ 海の環境学習」の詳細（H24実績）は別紙2参照

7/10 開催
蒲郡西部小 「しおさい」 乗船場所

蒲郡市漁業協同組合 竹島支所管理の浮棧橋
(南側) に着岸下さい





三河湾環境チャレンジ 海の環境学習(H24)



**どでかいイシガニ、ゲットだぜ！蒲郡の海って、きれいなの？
塩をかけたら貝が飛び出してきた！？生き物たくさん みつけた！**

海のまち蒲郡。しかしながら最近では、海で遊ぶ子どもたちの姿をみかけることが少なくなっています。

伊勢湾台風による大被害を受け、市民の安全を守るために作られた堤防が、奇しくも、物理的に、そして意識的にも海を遠い存在にしているのかもしれませんが。しかし現在は、海の環境を守るため干潟を整備し、海の浄化も進んでいます。アマモ場の育成も進み、蒲郡の海は今、非常に豊かな生物が住む、素晴らしい海の姿を取り戻しつつあります。

私たちは日々、海からたくさんの恩恵を受けて生活しています。しかし、かけがえのない「海」が、多くの深刻な問題を抱えているのも事実です。本来の海の姿を知らなければ、その先にある問題を考えることもできません。

「海に触って、海を知る」。初めて海へ出て、仲間と協力しながら、海の生き物に触れる体感、子ども達を1日で大きく成長させてくれます。生き物と触れあう「楽しい！」体験から、生き物住んでいる環境や特徴、時折みせる自然の厳しさなど、子ども達の興味・関心を、竹島水族館、愛知県水産試験場、三谷水産高校、NPOなど、海に関するプロが集い、地域が一体となって、子どもたちに教える活動をしています。

自分達のまちの、目の前に広がる海で遊び、育てられ、海に恩返しをする。
そんな「海ガキ」を育て、三河湾の環境について考える学習をサポートしています。



◆ 三河湾環境チャレンジ 海の環境学習

【平成24年度参加校】

- 大塚小学校 5年生
- 竹島小学校 4年生
- 蒲郡西部小学校 5, 6年生
- 三谷小学校 4年生
- 西浦小学校 3, 4年生
- 合計 255名



【協力機関】

蒲郡市竹島水族館、愛知県水産試験場、国土交通省三河港湾事務所、大阪府立大学、近畿大学、三谷水産高等学校、NPO シープリーズ三河湾、NPO 法人“人と自然とまちづくりと”、グリーンフロント研究所(株)、ラグーナ蒲郡、株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング株式会社 酒伊組、三谷漁業協同組合、蒲郡漁業協同組合、(竹島支所、西浦支所)、海辺の環境学習サポーター、蒲郡市環境清掃課、文化スポーツ課、企画広報課、生命の海科学館

問合せ先：蒲郡市生命の海科学館内 三河湾環境チャレンジ実行委員会
TEL 0533-66-1717